

# 美しいガラス in Venezia

江波富士子・小西潮作品 伝統と創造 展

**Delizie di vetro. Le opere di Enami e Konishi**  
**Tradizione e creatività.**



会 期 2015年9月19日～11月29日

会 場 イタリア ヴェネツィア市  
カ・ペーザロ館内 国立ヴェネツィア東洋美術館  
Santa Croce 2076, Venezia

付随イベント

- ・オープニングレセプション (9/18)
- ・「ヴェネツィア茶会」(会期最初に2回・終了時に2回予定)
- ・江波富士子氏レクチャー2回・朗読会など

かねてより当オフィスと現地コーディネーター持丸史恵氏のお力をいただき準備を致しておりました、小西潮・江波富士子両氏のヴェネツィアでの作品展の開催が正式に決定致しましたので、上記の通りお知らせ申し上げます。

会場となる国立東洋美術館の前館長フィオレッタ・スパダヴェッキア氏とサントリー美術館 学芸員 土田ルリ子氏のご推薦をいただき、昨年3月より企画進行致しておりましたが、おかげさまで持ちまして開催の運びとなりました。

今回の展示はイタリア国立美術館での開催となりましたので、法令に沿い合意書作成のため当方の企画書の提出ならびに美術館側からのご指導をいただきました。その後ヴェネツィア美術監督局長官と両作家の署名をいただき、理事会を通過、この3月イタリア文化省の承認をいただきました。

東洋美術館には江戸時代を中心とした日本の工芸品の膨大な収蔵品があり、かつまた日本の文化に深い造詣と理解があります。その中でヴェネツィアの技法で制作された小西潮氏・江波富士子氏両作家のガラス作品を展示致します。

収蔵品と呼応する日本の形を、ガラスのムリーニとレースの技法で制作する試みや、両作家の代表作ならびにヴェネツィアに着想を得た新作等、両作家の作品が日本とヴェネツィアの大きな架け橋となる事が期待されています。同時に日本人作家の感性と技術の高さも、現地にておおいにアピールすることと思えます。

1590年以前に制作され八王子城から出土されたヴェネツィアングラスの壺の復元作品も展示予定ですが、日本とヴェネツィアを結ぶものとして強い関心を示していただきました。作品紹介に留まらず文化交流の面においても意義あるものにして参る所存です。

またこの展覧会は、同時期に開催中のミラノ万博のテーマ『食』に沿った展示の一部となることも美術館側のご提案で決まりました。お茶会もその一環としてシンボリックにとらえております。

スイスに続き、今回のヴェネツィア茶会もご期待下さい。

展示詳細は企画書を公開致します。ご一読下さい。

国を超えて多くの方々にご覧頂けることを願っております。

また当ホームページ、ブログにて随時トピックス等のご報告を致して参ります。

どうぞ今後共、両作家への応援をお願い申し上げます。

オフィス卯甲 代表 春名 拝

Office ukou

• • •